







(右・左) 全人工股関節置換術<THA>で入院された患者様へ

ID () 氏名 () さん





日付	/		
経過	手術前日	手術日 (術前)	手術日 (術後)
目標	入院生活や手術について理解できる。 不安や心配が軽減される。	不安なく手術を受けられる。	全身状態が安定し苦痛がない。 創部の安静が保てる。
内服	いつも内服している薬を看護師に渡してください。	医師の指示がある薬のみ内服していただきます。	
注射		点滴を開始し、翌朝まで続けます。	抗生物質の点滴をします。 痛み止めの点滴をします。
リハビリ			
処置	血栓予防のための弾性ストッキングのサイズを測ります。	弾性ストッキングを装着します。	手術後～翌朝まで自動血圧計と心電図モニターを装着します。両足にフットポンプを装着します。 傷口にSBドレーンという管が入っています。
食事	入院後は食事ができます。 () 時以降は食べないでください。 	食事はできません。 水分は () 時まで摂ることができますが、 以降は絶飲食になります。	医師の許可があれば、看護師がお腹の動きを確認した後、飲水が可能になります。
安静			翌朝までベッド上で安静にしてください。 手術した足をクッションで挙上します。
排泄			おしっこの管が入った状態で帰室します。 
清潔		体拭きを行います。 医師の許可があれば、シャワー浴をします。	
説明 (その他)	主治医と麻酔医から手術の説明があります。 病衣、バスタオル、おむつ等の準備物を看護師が確認します。 そのほか疑問や不安な点があれば、いつでもご相談ください。		痛みがある場合は、我慢せずにお知らせください。 

注1 この予定は現時点で考えられるものであり、今後検査治療等を進めていくに従って変更となる場合があります。

注2 入院期間は現時点で予想される期間です。

(右・左) 全人工股関節置換術 <THA> で入院された患者様へ

ID () 氏名 () さん

日付	/	/	/
経過	術後 1～3日目	術後 4～7日目	術後 8日目～
目標	合併症を起こさない。 痛みの範囲内でリハビリができる。	リハビリを継続し日常生活に近づく。	出血や感染がなく、創部が閉じる。
内服	医師の指示で内服を再開します。 		
注射			
リハビリ	術後 1 日目からリハビリを開始します。		
処置	術後 1 日目にフットポンプを外し、SBドレーンを抜去します。 術後 2 日目に弾性ストッキングを脱ぎます。	ガーゼ交換を行います (月・水・金)。 傷口の状態を確認させていただく場合があります。 10時頃までは、お部屋に居てください。 手術 1 週間後に半抜鉤します。	手術 9 日目に全抜鉤 (抜糸) します。 手術 12 日目に創部にマイクロポアテープを貼ります。 シャワーの際はテープを一旦剥がし、創部を洗って乾燥させた後に再度テープを貼ってください。
食事	医師の指示に従いながら食事を再開します。		
安静	医師とリハビリスタッフの指示に従いながら、動いていただきます。		
排泄	状況に応じて、おしっこの管を抜きます。		
清潔	手術後は抜糸するまで原則入浴できません。 許可があれば、傷口を保護した上でシャワー浴ができます。		
説明 (その他)		リハビリを継続し退院に向けて頑張りましょう。	リハビリの内容に応じて、地域包括ケア病棟に転棟していただく場合があります。

注 1 この予定は現時点で考えられるものであり、今後検査治療等を進めていくに従って変更となる場合があります。

注 2 入院期間は現時点で予想される期間です。